旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２４年１月１４日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌493「安けさは河のごとく」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌６１７「慕いまつる主の」	一　同
教会学校	絵本「アルタバンの旅」	牧　師
讃　　美	聖歌404「イェスは汝を呼び給う」	一　同
聖書朗読	創世記12:1-4	
奨　　励	創世記の福音(第10回)	牧　師
主　　題	「出遅れ者への祝福」	
讃　　美	聖歌６２０「新しき地に」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌376「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	使徒行伝 8:26 ～	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
１/14(日)聖日礼拝
/15(月)
/16(火)
/17(水)10-15:OBSクラス
/18(木)8:30OBSﾁｬﾍﾟﾙ10:聖研
/19(金)
/20(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①吉峯家の慰めのために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「人々を迎える」
（ジャン・バニエ著「共同体と成長」より）

人々を喜んで受け入れること、歓迎することは、共同体に生命のあふれている証拠である。相手が見知らぬ人であれ、訪問者であれ、誰かを招きもてなすことは、わたしたちに恐れのないこと、むしろ分かち合うべき真理の宝を持っていることを表している。もし共同体が門戸を閉め始めるならば、それは心もまた閉鎖的になっていることを示している。

しかし、人々を歓迎するとはどういうことなのか、理解しておく必要がある。人々を受け入れる前に、まず、真の生命をもつ共同体として存在していなければなるまい。初期の共同体においては、何よりもまず、仲間同士が知り合う必要があるので、やや閉鎖的である位が適当だろう。それは結婚の場合も同じで、もし夫婦が絶えず友達を招いていたならば、自分達の一致をつちかう時間は全く無くなるであろう。

どんなことにも時があり、共同体にも自らを形成する時、その門戸を開く時がある。その場合、第二の時期が、いつも必ず第一の時期の後に来るわけではなく、二つは互いに密接に入り組んでいる。共同体においては、内部の親密な交わりの時も、外に開かれた時も、双方共に、常に必要なのである。もしどちらか一方の時しかないならば、それは、死を意味するし、少なくとも後退の時が始まっていることを意味している。ひっきりなしに人々を受け入れている共同体は、まもなく散漫になり落ち着きがなくなり、結局は鉄道駅のように人々を慌しく到着させ、すぐ出発させる場と化してしまうだろう。一方、自らを閉ざし続けている共同体は、窒息状態となり、しだいに不和や嫉妬が生じ、生き生きした生命力は無くなっていくだろう。

良い共同体には魅力があるし、魅力的な共同体は、必ず人々を喜んで受け入れている。生命が、新しい生命をもたらすのである。生命を生み出す力には、報いを求めない驚くべき無償の精神がある。生命ある者が、他の生命ある者を生み出す様は、感嘆すべきであって、このことは、共同体という生きた身体にもあてはまる。